



平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月14日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東  
 コード番号 6047 URL http://gunosy.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役 最高経営責任者(氏名) 福島 良典  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 最高財務責任者(氏名) 伊藤 光茂 (TEL) (03)6455-4560  
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	5,621	82.6	1,086	200.5	1,085	199.5	891	182.3
28年5月期第3四半期	3,078	—	361	—	362	—	315	—

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 922百万円(244.3%) 28年5月期第3四半期 267百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	40.34	37.38
28年5月期第3四半期	14.46	13.26

(注) 平成28年5月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年5月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	8,926	7,744	86.6
28年5月期	7,587	6,745	88.9

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 7,729百万円 28年5月期 6,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年5月期	—	0.00	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成29年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,742	68.3	1,422	152.8	1,421	150.8	1,103	82.2	49.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 特定子会社の異動には該当しませんが、株式会社Kumarを第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年5月期3Q	22,410,200株	28年5月期	21,973,000株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	185,500株	28年5月期	185,500株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年5月期3Q	22,097,463株	28年5月期3Q	21,834,657株

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式 (28年5月期: 185,500株、29年5月期3Q: 185,500株) を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間において、株式会社Kumarの全株式を取得し子会社化したことに伴い、連結の範囲に含めております。

なお、株式会社Kumarの四半期決算日である平成28年6月30日をみなし取得日としているため、当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書には、同社の平成28年7月1日から平成28年12月31日までの6ヶ月間の業績が含まれております。

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォン契約数が平成28年3月末現在7,715万件と前年同月末比で865万件増加するなど、スマートフォンは引き続き急速に普及しており（株式会社MM総研調べ）、また、平成28年の広告費は6兆2,880億円と5年連続で成長を続けております。とりわけインターネット広告費につきましては前年比113.0%の1兆3,100億円と、広告費全体の成長を牽引する成長となりました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社グループは、第3四半期連結会計期間において、KDDI株式会社との提携に基づき第1四半期連結会計期間にサービス提供を開始した新たな情報キュレーションサービス「ニュースパス」について、テレビCMの実施等、プロモーション施策を積極的に展開いたしました。また、引き続き「グノシー」及び「ニュースパス」のユーザビリティを高めるべく、日々ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善を行ってまいりました。

収益面に関しては、アクティブユーザー数の順調な積み上がりに加え、「ニュースパス」の収益化が寄与し、当第3四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を3,759百万円計上いたしました。また、提携メディア数の増加に伴い、アドネットワークに係る売上高が順調に伸長し、当第3四半期連結累計期間で1,682百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、引き続きユーザーの獲得のためテレビCM等のプロモーション施策を積極的に展開し、広告宣伝費1,356百万円を計上したほか、従業員数増加に伴いオフィスを増床移転したことにより地代家賃が増加いたしました。また、繰越欠損金の減少による繰延税金資産の取り崩しにより、法人税等調整額を△79百万円計上し、四半期純利益が同額減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高5,621百万円（前年同四半期比82.6%増）、経常利益1,085百万円（前年同四半期比199.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益891百万円（前年同四半期比182.3%増）となりました。

なお、「グノシー」及び「ニュースパス」合計の国内累計DL数は当第3四半期連結会計期間末において2,043万DLとなり、前連結会計年度末比で607万DLの増加となりました。

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,338百万円増加し、8,926百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比736百万円の増加）、売掛金の増加（前連結会計年度末比186百万円の増加）、のれんの増加（前連結会計年度末比333百万円の増加）、投資その他の資産のその他の増加（前連結会計年度末比138百万円の増加）であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて340百万円増加し、1,181百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加（前連結会計年度末比221百万円の増加）、未払法人税等の増加（前連結会計年度末比64百万円の増加）、流動負債のその他の増加（前連結会計年度末比45百万円の増加）であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて998百万円増加し、7,744百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比891百万円の増加）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年1月13日に公表いたしました平成29年5月期通期の連結業績予想に変更はありません。業績予想の前提についての、当第3四半期連結会計期間における状況と、今後の見込みにつきましては以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間におきましては、「グノシー」の1DL当たりの獲得費用がやや上昇したことを踏まえて広告宣伝費の投下を抑制し、それに伴い新規DL数は計画比で若干ビハインドして推移いたしました。一方で、DLしたユーザーの継続率は順調に推移し、結果として、アクティブユーザー数は計画通りに推移いたしました。また、1DL当たりの収益性につきましても、計画通りに推移しております。

売上高につきましては、新規DL数の伸長及びDLしたユーザーの継続率が好調であったこと、外部パートナーとの連携を受けて、Gunosy Ads及びアドネットワークに係る売上高が共にほぼ計画通りに推移いたしました。

費用につきましては、概ね計画通りに推移いたしました。

今後につきましては、引き続き「グノシー」と「ニュースパス」のユーザー規模拡大を目指すとともに、アクティブユーザー数の増加のためのアルゴリズムの精度向上に努めてまいります。また、収益面に関しましては、広告主のニーズを的確にとらえた商品開発を進めるなど、収益向上を目指してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間において株式会社Kumarの株式を取得し子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,369,949	6,106,069
売掛金	581,253	767,952
繰延税金資産	112,574	42,906
その他	187,712	134,702
流動資産合計	6,251,490	7,051,630
固定資産		
有形固定資産	18,100	107,852
無形固定資産		
のれん	262,260	596,021
その他	5,037	3,637
無形固定資産合計	267,297	599,658
投資その他の資産		
投資有価証券	893,048	879,871
繰延税金資産	12,335	3,002
その他	145,183	284,038
投資その他の資産合計	1,050,567	1,166,913
固定資産合計	1,335,965	1,874,424
資産合計	7,587,456	8,926,055
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	204,175	426,064
未払法人税等	95,315	159,801
その他	528,674	574,252
流動負債合計	828,164	1,160,118
固定負債		
株式給付引当金	12,097	21,864
その他	1,670	—
固定負債合計	13,767	21,864
負債合計	841,932	1,181,982
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,871,105	3,901,800
資本剰余金	3,870,955	3,901,650
利益剰余金	△696,580	194,753
自己株式	△199,921	△199,921
株主資本合計	6,845,557	7,798,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△100,033	△68,556
その他の包括利益累計額合計	△100,033	△68,556
新株予約権	—	14,347
純資産合計	6,745,524	7,744,072
負債純資産合計	7,587,456	8,926,055

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	3,078,671	5,621,902
売上原価	893,308	2,158,233
売上総利益	2,185,363	3,463,669
販売費及び一般管理費	1,823,930	2,377,559
営業利益	361,433	1,086,109
営業外収益		
受取利息	2,482	425
講演料収入	141	229
物品売却益	—	295
その他	33	2
営業外収益合計	2,656	954
営業外費用		
支払利息	159	222
為替差損	1,330	327
株式交付費	30	365
固定資産売却損	—	431
その他	10	30
営業外費用合計	1,530	1,378
経常利益	362,559	1,085,686
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51,751
特別利益合計	—	51,751
税金等調整前四半期純利益	362,559	1,137,437
法人税、住民税及び事業税	46,801	167,102
法人税等調整額	—	79,000
法人税等合計	46,801	246,103
四半期純利益	315,758	891,334
親会社株主に帰属する四半期純利益	315,758	891,334

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	315,758	891,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,759	31,476
その他の包括利益合計	△47,759	31,476
四半期包括利益	267,999	922,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	267,999	922,810
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。